

別紙1 機能要件一覧

1 基本方針

- ・現みやぎ創業ガイドのコンテンツ及びリンク先等は基本的に満たししつつ、重複するものは統合するなど、カテゴリや階層が整理されたシンプルで感覚的に操作できるサイト
- ・システム利用者が効率よくかつスピーディに情報を発信できるサイト
- ・将来的な拡張性が高く、柔軟な運用が可能なサイト
- ・運用・保守経費等、ランニングコストが低廉に抑えられたサイト
- ・ユーザーインターフェイスに配慮した「誰でも使いやすい」、ユーザーエクスペリエンスの高い「目的を達しやすい」サイト

2 機能要件

(1)画面デザイン

- ・サイト全体が、標準化・統一化されたページデザインであること。
- ・パソコン、スマートフォン、タブレット端末等のディスプレイサイズに依存しないデザインとすること。
- ・特にスマートフォンによる閲覧者を意識したデザインとすること。

(2)トップページ

- ・サイト管理者にて管理しているトップページ掲載内容を HTML の知識を必要とせずに修正できること。

(3)階層・構造・カテゴリ分類

- ・情報分類の手法については、ページごとに複数の分類属性を付与できること。
- ・グローバルメニューからの一方向だけでなく、逆引きのような違う視点からのカテゴリメニュー類からもたどる設定ができること。
- ・主要な情報については、トップページから複数の経路を使って目的のページへアクセスすることができること。

3 コンテンツ等

(1)共通

- ・現みやぎ創業ガイドを吟味し、全体の構成を再構築して新システムを構成すること。

(2)入力方法

- ・各種情報の掲載はフォーム入力型のテンプレートで行い、統一したデザインのページが作成できること。
- ・ウェブアクセシビリティなどの基準に合ったページを、HTML 言語を意識することなく、簡易な画面操作、具体的には一般的なワープロソフトに近い操作性で作成できること。
- ・システム利用者がパソコンに不慣れな人でも編集しやすいものとする事。
- ・一定時間無操作状態だった場合、警告の上、自動的にログアウトすること。また、一時保存した作成途中のページを再ログイン後に編集を再開できること。

- ・装飾に用いる文字色は、管理者が指定した色のみを使用させるよう制限できること。又は文字色を変更不可とすること。
- ・ページに公開日又は最終更新日が自動入力されること。

(3)画像

- ・画像の掲載・変更・削除が容易にできること。
- ・登録できる画像ファイルの容量を制限できること。
- ・登録する画像ファイルが設定値よりも大きい場合は、自動的にリサイズ又は警告が表示されること。
- ・登録できる画像ファイル種別はJPG, GIF, SVG 及びPNG であること。

(4)リンク

- ・内部リンク及び外部リンクを容易な操作で設定できること。
- ・リンク切れは一括チェックできるほか、ページ単位及びページ内のどの部分にリンク切れがあるか視覚化して表示の上チェックできること。
- ・外部リンクを設定した場合には任意のルールに基づき、リンクの後ろに「外部リンク」などの文言が自動で挿入されること。

(5)基本情報の掲載

- ・サイトの利用ガイド、著作権、情報セキュリティ、免責事項、個人情報利用規定などの情報を掲載すること。

4 付加機能

(1)検索・ナビゲーション

- ・全文検索機能及び条件検索機能を有すること。
- ・全てのページにトップページへ戻るリンクを設定すること。
- ・各ページにグローバルナビゲーションを自動生成すること。
- ・新みやぎ創業ガイドへ実装することで、本県での創業情報がわかりやすく、必要な情報にたどり着くことができ、創業相談や創業者数の増加に効果的と考えられる独自の機能等を提案すること。

(2)アクセス解析機能

- ・アクセス解析には Googleanalytics などを用い、詳しい分析作業が行えること。
- ・Cookie を取得している旨をサイト上に記載すること。

(3)メルマガ

- ・補助金募集開始通知を希望する方に、メルマガを配信できること。

(4)SNS 連携

- ・Facebook 等の SNS と連携できること。

(5)スマートフォン・タブレットサイト

- ・スマートフォン・タブレットに(PC 画面表示ではなく)それぞれ適した画面を表示することができること。

5 管理機能

(1) ページ管理

- ・管理者は、全てのコンテンツの状態(作成中、承認待ち及び公開中)を一覧で確認しコンテンツの状態一覧及びバックアップを CSV などで保存、出力できること。
- ・サイト全体がツリー表示できること。
- ・所属ページ及び作成したページの公開予約(年月日のほか時間単位で設定)を行うことができること。また、公開終了日をあらかじめ指定でき、自動的に停止処理が可能であること。

(2) テンプレート管理

- ・管理可能なテンプレート数に上限がないこと。

(3) バックアップ

- ・別のバックアップサーバに本サイトのデータを毎日定時にバックアップし、1世代以上管理できる機能を有すること。また、発注者の求めに応じてバックアップデータを提供すること。

(4) その他

- ・閲覧者がページを印刷するときは、ページ内容が横幅で切れることなく印刷できること。
- ・適切な検索対策(SEO)ができていること。

6 非機能要件

(1) ユーザビリティ・アクセシビリティ

- ・JIS規格やW3C基準、総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン(2016年版)」などに沿ったウェブアクセシビリティ、ユーザビリティを確保したサイトであること。
- ・目的とするコンテンツに、最大5クリック程度で到達できる階層構造であること。
- ・カテゴリは、タイトルを見ただけで中にあるコンテンツの内容を想像できるものであること。
- ・主要な情報については、トップページから複数の経路を使って目的のページにアクセスすることができること。
- ・必要に応じて、宮城県を想起させるキャラクターやイラスト等を活用し、親しみやすく宮城らしいコンテンツを目指すこと。

(2) 基本形式

- ・公開アドレスについては、次のドメインを使用すること。
(<https://www.miyagi-sogyo.jp/>)
- ・生成されるHTMLのバージョンは、XHTML1.0 Transitional DTD 又はHTML5で構築すること。
- ・生成されるページは静的なHTML形式とし、静的なURLが付与されること。
- ・生成されるHTMLはウェブ標準(W3C)に配慮した記述となること。
- ・公開用サーバに配置するのは静的な英数字表記のHTMLファイルとする。
- ・作成されるHTMLファイルは、Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome、Opera、Safariの最新版で、レイアウトが著しく崩れないように表示できること。また、今後に登場するブラウザについても可能な限り対応すること。
- ・開発言語は一般的に使われているものとし、特定ベンダーに依存する開発環境は認めない。
- ・一般的なインターネット回線を利用したシステムとし、システムの利用に必要な動作環境は、受注

者が最適な動作環境を明示すること。

- ・OS等は次に対応するものであること。OS：Microsoft Windows10以降、android、iOS、ブラウザ：MicrosoftEdge、Firefox、Google Chrome、Opera、Safari、アプリケーション：Microsoft Office 2016以降
- ・受注者が明示した動作環境において、必要とされる応答性要求や安全性、信頼性、セキュリティを満たさない場合は、受注者の責で応答性要求等を満たすためのシステムの調整や補完措置を講じること。ただし、利用者側のネットワーク環境に起因する不具合や機器の故障による不具合はこの限りではない。

(3)性能要件

- ・新システムを構成する製品や技術は、国際標準、日本工業規格、業界標準に準拠していること。
- ・ソフトウェアの導入を必要とする場合は、製造元保障が長期間得られる形態で、安定的な保守サポートの実績がある製品とし、販売、採用実績の高い製品の採用に努めること。
- ・機能の追加や変更が容易に行える柔軟性を持ったシステムであること。
- ・一貫した操作性をもって容易に操作できるユーザーインターフェースであること。
- ・処理時間待ちの状態表示や、的確なエラーメッセージの表示等、利用者にわかりやすく処理状況を伝えるよう配慮すること。
- ・レスポンスは提案時に時間を明示し、目標値とすること。ただしネットワークの接続状況等の制約上、この目標値を超えることを発注者が認めた時はこの限りではない。
- ・ソフトウェアの導入を必要とする場合は、今後のバージョンアップに対して上位互換が保てる技術の採用に努めること。
- ・システム更新等を想定し、受注者が保有するシステムの設計やプログラム情報等、運用の移管に必要なドキュメント等の必要資料の提供、作業支援を行うこと。
- ・他事業者を引き継ぐことが可能なシステム構成とすること。
- ・クラウドサービスを利用する場合は、受注者とクラウドサービス事業者との間のサービス契約を、受注者以外の者に引き継ぐことができるものとする。

(4)セキュリティ

- ・コンピュータウイルスなどの悪意あるプログラムが侵入できないようウイルス対策を講じるとともに、セキュリティーホールなどの対応（修正パッチ）を速やかに実施すること。
- ・権限を有したユーザ以外アクセスできないようにすること。また、ログイン等の記録を全て残すこと。
- ・SSL証明書を取得することとし、認証レベルはOV認証以上とすること。

(5)計画

- ・現みやぎ創業ガイドで公開されているコンテンツを取り込むこと。
- ・原則、公開側サーバからコンテンツをダウンロードすること。
- ・日本工業規「JISX 8341-3：2016」における「AA（ダブルエー）」ランクに準拠すること。
- ・移行スケジュール及びルールも含めた移行計画書を作成し、発注者と協議の上作業を進めること。
- ・受注者が保有もしくは提供を予定するサービス及びコンテンツの機能一覧を提示し、発注者が求める機能が実装できているかの確認を実施すること。

- ・上記で不足の機能がある場合には、適切な代替案などを提示し、発注者の承認を得ること。
- ・システム管理者に対し、受注者が提供する標準的なシステム機能の説明、利用イメージについて資料提供又は説明を行うこと。
- ・上記説明に際し、同時に運用状況等について聞き取りを行い移行計画に反映させること。
- ・上記聞き取りの結果は、報告書として取りまとめ、発注者の承認を得ること。

(6)テスト

- ・テストに必要なサーバ及び環境は受注者が準備すること。
- ・システム導入、設定調整後、システムが問題なく動作するかテストすること。
- ・テスト作業は発注者が「テスト仕様書」に基づいて行い、受注者はこれを支援すること。「テスト仕様書」は受注者が作成し、発注者が予め承認したものとする。
- ・受注者は、「テスト仕様書」に対する結果を取りまとめる作業に協力すること。
- ・受注者は、テストにおいて不具合が発見された場合、発注者の指示に従い、適切な処置を施すこと。
- ・受注者は、テスト実施後テスト結果を取りまとめ報告すること。
- ・テスト時に使用した一時ファイル等の不要なファイル等は、テスト終了後、受注者において削除すること。
- ・システム動作試験及び対象部署での試験が終了した後、発注者による検査を受け、発注者の了承を得た場合には、本番移行を実施すること。

(7)マニュアル

- ・システム管理者を対象としたマニュアル及び運用ガイドラインを作成すること。主な内容は以下のとおりとすること。
- ・システム利用体制（システム管理者、各データ管理者等を定義）
- ・システムの利用ルール（研修、個人情報、背景図等の利用規定、外部提供等について定義）
- ・データ活用ルール（権限の設定、権限の許可について定義）
- ・データ整備ルール（データ整備フロー、手続きについて定義）
- ・上記以外の発注者独自の運用があればそれも記載すること。
- ・開発した事業者以外が、保守・管理及び改修が可能なようにシステム開発者向けのマニュアルを整備すること。

(8)その他

- ・企画提案において提案した内容（提案書及びプレゼンテーションでの応答等を含む）に関しては、本業務内で実装すること。
- ・本稼働で使用するサーバについて、汎用性が高く最適と考えられるスペックを提案すること。
- ・法律改正やシステムのサービス終了等に備え、部分的改修やシステムの交換など柔軟な対応ができるようにすること。
- ・適正な業務の遂行を計るため、受注者は発注者と常に密接な連絡を取ること。また、主要な区切りにおいては発注者と打合せを実施し、その都度打合せ協議簿を作成の上、相互に確認すること。